

**PRESS RELEASE**

**デジタルアーツ、「i-FILTER@Cloud」の CASB 機能を強化し、4月3日に提供開始  
～次世代 SWG として、クラウドサービスの利用を可視化・制御し、シャドーIT や情報漏えいを  
防止する CASB 機能を向上～**

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、クラウド版の Web セキュリティ製品「i-FILTER@Cloud」において、クラウドサービスの利用を可視化・制御する CASB(Cloud Access Security Broker)機能を強化し、4月3日に提供開始することを発表します。



**クラウドサービスの利用が拡大する中、シャドーIT 対策・サンクション IT の管理策として CASB の重要性は高まっている**

デジタル化やテレワークの普及に伴い、オンラインストレージやSNSなどクラウドサービスの利用は拡大しています。クラウドサービスは利便性が高い一方で、情報漏えいなどセキュリティの観点から企業が利用を許可していないケースもあります。従業員が企業の管理下でないIT機器やサービスを利用することをシャドーITといい、シャドーITの利用により情報漏えいやマルウェア感染などのセキュリティインシデントにつながってしまう恐れがあります。また、企業が利用を許可したサンクション IT であっても、適切に利用されているかを把握し、管理することも重要です。企業においてシャドーITを防ぐことやサンクション IT を管理することは必要不可欠であり、近年ではクラウドサービスの利用状況を可視化・制御できる CASB の重要性がより一層高まっています。

**次世代 SWG として、「i-FILTER@Cloud」の CASB 機能を強化、クラウドサービスの利用を可視化・制御**

デジタルアーツは、クラウド版の Web セキュリティ製品「i-FILTER@Cloud」を提供しております。この「i-FILTER@Cloud」が長年収集した URL のデータベースを活用することにより、デジタルアーツが安全と判断した Web サイトのみアクセスできる「ホワイト運用」を実現し、ご利用ユーザー1,100万人<sup>※1</sup>の ICT 環境を既知・未知のマルウェアの脅威から守り、本日までマルウェア感染被害報告ゼロ<sup>※2</sup>を継続しております。また、従来の製品では対応できなかった広範囲のセキュリティ対策の需要が高まっていることから、デジタルアーツは「i-FILTER@Cloud」にアンチウイルスやサンドボックス、CASB など多様な機能を追加搭載した独自の次世代 SWG<sup>※3</sup>の展開を目指しています。2022年には通信の中身においてウイルスや挙動をチェックすることにより安全な Web サイトから安全なファイルをダウンロードできる「Anti-Virus & Sandbox」オプションを追加しました。

「i-FILTER@Cloud」は、以前より CASB 機能として、クラウドサービスの利用を制御できる「Web サービス制御機能」を搭載しております。CASB とは、クラウドサービスの利用状況を可視化・制御し、一貫性のあるセキュリティポリシーを適用するという考え方で、「可視化」、「脅威防御」、「データセキュリティ」、「コンプライアンス」の4機能を備えることが要件とされています。今回、これまで以上にクラウドサービスの利用を可視化・制御するため、「i-FILTER@Cloud」の CASB 機能を強化します。CASB 機能の強化は、デジタルアーツが展開を目指す次世代 SWG の一環です。

デジタルアーツは、CASB の 4 つの要件である「可視化」、「脅威防御」、「データセキュリティ」、「コンプライアンス」に対応し、強化した CASB 機能を「i-FILTER@Cloud」の標準サービスとして4月 3 日に提供開始します。純国産製品である強みを活かし、国内で利用機会の多い国産クラウドサービスを中心に制御できるクラウドサービス数を約 2,500 とし、今後も拡充します。管理画面が日本語であり、「ログイン、書き込み、アップロード、画面共有」など細かいアクションごとに制御できることも特徴です。さらに、クラウドサービスの利用状況もグラフィカルに把握できるようになります。今回の機能強化によって、より強固なシャドーIT、サンクショーンIT、情報漏えい対策を行うことが可能となります。

従来、クラウドサービスの利用状況を把握するにはログを確認する必要がありましたが、今回の機能強化により利用状況はグラフィカルに「可視化」されます。「脅威防御」は、従来「i-FILTER@Cloud」でマルウェア検知を行っていましたが、これに不許可アカウントや不許可クラウドサービスの利用制限が加わります。「データセキュリティ」では、不正持ち出しにも利用される ZIP パスワードファイルなどのアップロードを検知します。「コンプライアンス」では、クラウドサービスを「ログイン、書き込み、アップロード、画面共有」などのアクションごとに制御することが可能となります。

CASB の 4 要件に対応した「i-FILTER@Cloud」の各機能は、今後もさらに強化する予定です。

## 「i-FILTER@Cloud」CASB 機能の詳細

対象製品: 「i-FILTER@Cloud」通常版

価格 : 月額 500 円(消費税抜き) ※CASB 機能は「i-FILTER@Cloud」の標準サービスとして搭載

「i-FILTER@Cloud」CASB機能の詳細	
可視化	<b>クラウドサービスの利用状況を可視化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●クラウドサービスごとのアクセス状況を可視化</li> <li>●各クラウドサービスのリスク、カテゴリ、利用人数、ブロック数、警告数、ダウンロード・アップロードのデータ量から、制御・設定変更が可能</li> </ul>
	<b>ファイルの利用状況を可視化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ダウンロード・アップロードファイルの状況を可視化</li> <li>●拡張子、許可やブロックなどのアクション、ユーザー名などの詳細情報を確認可能</li> </ul>
	<b>ユーザーの利用状況を可視化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ユーザーごとにリスクの高いアクションやファイルのやり取りなどの利用状況を可視化</li> </ul>
脅威防御	<b>不許可アカウントの利用制限</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●組織が許可していない個人アカウントでのクラウドサービスのログイン・利用をブロック</li> </ul>
	<b>不許可クラウドサービスの利用制限</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●組織が許可していないクラウドサービス(Webサービス)の利用自体を制限</li> </ul>
データセキュリティ	<b>ZIPパスワード・暗号化ファイルの検知</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●データの機密性が判断できない、不正持ち出しに利用されるZIPパスワードファイルや独自の暗号化ファイルのアップロードを検知・ブロック</li> </ul>
	<b>拡張子ごとのファイル制御・拡張子偽装対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●クラウドストレージではpdf形式のみアップロードを許可など拡張子ごとのファイルアクセス制御を実現</li> <li>●拡張子を偽装したファイルも正しく判定</li> </ul>
コンプライアンス	<b>クラウドサービスのアクションごとの制御</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国内外の約2,500のクラウドサービス(Webサービス)を「ログイン、書き込み、アップロード」などのアクションごとに制御</li> <li>●国産クラウドサービスにおける「画面共有」などの詳細なアクションを制御</li> <li>●リスクレベルごとに一括でポリシーを設定</li> </ul>

## ■「i-FILTER@Cloud」

「i-FILTER@Cloud」は、クラウド版の Web セキュリティ製品です。有害情報や業務に関係のない Web サイトの閲覧を防ぐフィルタリングに加え、外部からの攻撃、内部からの情報漏洩も防ぎます。国内で検索可能な URL を網羅したデータベースにより、危険な Web サイトや未知の脅威へのアクセスをブロックし、デジタルアーツが安全と判定した Web サイトのみアクセスできる環境を実現しています。

<https://www.daj.jp/bs/datcloud/ifatcloud/>

## 「i-FILTER@Cloud」の CASB 機能紹介のセミナーを開催

「i-FILTER@Cloud」の CASB 機能強化にあたり、新機能紹介セミナーを 3 月 28 日に開催します。

### 4 月 3 日「i-FILTER@Cloud」新機能リリース！国産セキュリティメーカーが提供する CASB 機能をデモを交えて徹底解説

近年、多くの企業・団体においてオンラインストレージやクラウドサービスが活用されていますが、それらの利用には、企業のビジネスを加速させる側面を持つ反面、情報漏洩や機密情報の持ち出しといったリスクがあります。このような状況を受け、デジタルアーツは、これまで以上にクラウドサービスの利用状況を可視化・制御可能にするため、強化した CASB 機能を「i-FILTER@Cloud」の標準サービスとして提供開始します。(4 月 3 日～)

本セミナーでは、CASB 機能の 4 つの要件である「可視化」、「脅威防御」、「データセキュリティ」、「コンプライアンス」に沿って、本機能をデモを交えて詳しくご紹介します。国産セキュリティメーカーならではのわかりやすい管理画面についてぜひご確認ください。

・お申し込み方法: お申し込みフォームに必要事項をご入力ください。[参加費: 無料]

▶お申し込みはこちら <https://mktg.daj.jp/public/seminar/view/6926>

※1 2023 年 1 月時点における「i-FILTER」Ver.10、「m-FILTER」Ver.5、「i-FILTER@Cloud」、「m-FILTER@Cloud」のユーザー数(自社調べ)

※2 2023 年 1 月時点における「i-FILTER」Ver.10、「m-FILTER」Ver.5、「i-FILTER@Cloud」、「m-FILTER@Cloud」のユーザー数および同ユーザーのマルウェア感染被害報告件数(自社調べ)

※3 SWG(セキュアWebゲートウェイ): プロキシに複数のセキュリティ機能がプラスされたゲートウェイ(ネットワークの中継地点)

## デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。

1995 年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、有害情報の閲覧を制限する Web フィルタリングソフトを開発、以来企業・公共・家庭向けに情報セキュリティ製品を提供しております。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウエストタワー14F ▶URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

デジタルアーツ株式会社 広報担当 石井 TEL : 080-8750-0425 / E-mail : [press@daj.co.jp](mailto:press@daj.co.jp)

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う在宅勤務実施中のため、お電話でのお問い合わせは上記とさせていただきます

※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、i-FILTER Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud D アラート発信レポートサービス、info board、Active Rating System、D-SPA、Anti-Virus & Sandbox for D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、ホワイト運用、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud D アラート発信レポートサービス、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Desk@Cloud、Desk、D アラートおよび D コンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。

※ その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。